



冬-八海山-

私は自然風景を克明に描写した生態風景写真を、35mmフィルムの約120倍の面積の超大判フィルムで撮影しています。これまでも中越森林管理署の協力を得て、中越地方の原生林も撮ってきました。そこで感じたことを書かせていただきます。

新潟県は南北に長く、山形県、福島県、群馬県、長野県、富山県に接しています。それらの県境付近には豊かな原生林が広がっており、磐梯朝日国立公園、尾瀬国立公園、上信

私と国有林

「国有林に思うこと」

写真家 **天野尚**
あまの たかし

越国立公園といった公園になっています。これらの国立公園はブナ林などに囲まれて風光明媚な素晴らしい場所だと思います。ただ、残念なのは、山形県に次いで新潟県内の被害が特に多いようですが、ナラの木が枯れているのが目立つことです。また、山形県の鳥海山から広がったウエツキブナハムシによるブナの葉の被害も深刻で、ここ数年、夏に赤茶けた山を見るのが心苦しく感じられます。そのほかにも、酸性雨や光化学スモッグなど大気汚染の影響もあり、自然が人知れず傷んでいるのが現状です。

ブナの木もウエツキブナハムシに



超大判フィルムで撮影する筆者



春-浅草岳山麓-

食べられないようにタンニンを多く出して必死に耐えています。私たち人間がしなければならぬことでもあります。3月11日の大震災以降、人間だけが繁栄することはできず、自然と共存共栄しなければならぬという思いが強くなっています。しかし、実際には自然に興味のない人が多く、講演で話をしてもナラ枯れやブナ枯れについてほとんどの方が知らないことに驚愕しました。あれだけ山の木が枯れているのに気づかないのは、自然を見る機会の少ない人が多いからでしょう。多くの人がもっと山の自然に親しむ機会が必要だと思つたので、森林管理署もツアーなどを企画してもっと国有林の現状を見せる努力をしてはいかげし



夏-水無溪谷-

うか。私は、現状を知らない無関心が一番怖いことだと思います。

これまでも、全国各地で集中豪雨により鉄砲水や山崩れが発生し、県内でも家が流される被害が出ています。このような災害は、手入れが行き届いていない植林された山で発生することが多いように思います。原生林は自然の仕組みがうまく働いているため保水力が高く、簡単に山が崩れることはありません。このような事実を知ってもらうためにも、これからは多くの人に山の自然を見せる必要があるのではないのでしょうか。

私の撮影した写真が、一人でも多くの方々に自然に興味を持ってもらうきっかけになれば幸いです。

(写真は全て筆者撮影。)